

総務経済常任委員会活動レポート

開催日時：令和 7 年 6 月 2 日(月)

開催場所：1・2号委員会室

経 済 部

1. 産業経済構造調査について

小樽商科大学に委託した産業経済構造調査の結果報告を受けました。この調査は本町の産業経済の大きさ、各産業の所得形成に寄与する度合い、産業間取引の構造等の現状と課題を把握し、今後の施策立案等の参考とすることを目的としています。

【主な質疑】

委員：アンケートの回収率が約 12%と低く、その後のヒアリング調査数も少ないですが、データの有用性は確保できていますか？

担当：資料の作成は北海道の産業連関表と国の経済センサスの情報を活用し、アンケートは補足的な使用となることから問題はありません。

委員：令和元年のデータを基にしていますが、情報が古いのでは？

担当：コロナ禍前の平時の状態を知るため、また、調査に使用する産業連関表が概ね 5 年毎に更新されているため、令和元年の資料となっています。

委員：今後、同様の調査を継続的に実施する予定は？

担当：次の作成があるとすれば令和 2 年 3 年のデータを使用する事になり、コロナ禍の影響を受けたデータとなるため、平時のデータとは比較が難しくなることから、現状では次回の調査は未定です。

委員：本町では畜産食料品の影響力が大きいと明らかになりましたが、この部分を伸ばすために町として具体的に取組む計画はありますか？

担当：畜産食料品で具体的に力を入れていくことまでは検討できていません。調査結果は、今後の施策立案等に活用していきたいと思っています。

総 務 部

1. 防災について

中標津町防災会議において、女性の登用を促進し多様な主体の意見を反映することを目的とした条例改正案の説明を受けました。

これまで女性の登用は 0 名でしたが、この条例改正により 12 名の女性を登用予定となります。

【主な質疑】

委員：女性委員を増やす改正案ですが、ただポジションを作っただけで終わらないように、運営としてはどのように考えていますか？

担当：訓練の実行性を高めるために、今回委員になっていただく方以外も含め、訓練の在り方を検討していきます。

委員：任期は2年ですか？また、任期の途中で役職が変更する方の対応は？

担当：任期は変わらず2年となります。また、任期の途中で役職に変更がある場合には新委員が元委員の任期を引き継ぎます。

委員：行政の専門職員から女性委員を登用していますが、一般職員から女性委員の登用はできませんか？

担当：総務課にも防災計画に触れる女性職員がいるため、一般職員の女性の目線も確保されていると考えています。

建設水道部

1. 建設工事の発注・進捗状況について

建設工事の発注・進捗状況について報告を受けました。

【主な質疑】

委員：小学校の冷房設備整備工事で、機械工事と電気工事の工区分けが異なるのは？

担当：工事規模を調整した結果です。電気工事ではキュービクルの工事が伴うものを分けていて、機械工事では冷房の種類で工区をまとめたため、電気工事と機械工事で工区が異なります。

2. 上下水道事業について

下水道使用料の改定に関する検証について説明を受けました。下水道使用料に関する現状と課題は「公共下水道の共用開始から40年が経過し、老朽化対策と維持管理費が物価高等の影響もあり増加している」「人口減少や節水機能の向上により使用料収入が減少している」との報告がありました。

また、資金面では金融機関からの一時借入金で不足分を補填し事業運営しているとの説明がありました。

仮に下水道使用料を改定しない場合、カメラ調査や施設修繕の範囲を絞り込むことで事業費を圧縮することが考えられますが、その場合は下水管破損による道路陥没などリスクが大きくなるとのことでした。

今後の目標としては、「経費回収率100%以上を目指す」「運営資金を確保し一時借入金を解消する」「滞りなく事業を実施することで、災害に強く、衛生的な生活環境づくりに貢献する」ことであり、これらの課題解決と目標達成のため、下水道使用料の改定案を上下水道運営委員会等で調査を継続し本年度中にまとめ、改定が必要と判断された場合には、令和8年4月から新料金による賦課開始を目標としていることが説明されました。